

深堀浄水場系配水管洗浄業務委託 特記仕様書

第1章 総則

1 適用

この仕様書は、配水管洗浄業務委託（以下「業務」という。）に適用する。

2 目的

この業務は、濁水頻度が高く管内への付着物が確認されている深堀浄水場系の配水管において、濁水の発生を軽減することを目的とする。

洗浄工法は、供用中の水道管渠であるため、清掃器具による閉塞等がおこらない工法で清掃を行う必要があり、アISPグ管内洗浄工法を想定している。ただし、アISPグ管内洗浄工法と同等以上の工法を妨げるものではないため、アISPグ管内洗浄工法以外の工法を用いる際は、作業前に調査員の承認を得なければならない。

3 法令等の遵守

受注者は、業務を履行するにあたり関係する法令、条例規則等を遵守すること。また、資格等（資格、検定、認定等）を必要とする作業は、当該資格等を保有する者に行わせること。

4 事前調査等

受注者は、業務着手に先立ち、現地の状況、関連作業等について綿密な調査を行い、実状を把握したうえで履行しなければならない。

事前調査の結果、諸官署等への手続きが必要な場合は、関係諸官署等との協議事項及び指示事項を調査員に提出すること。手続きに必要な経費は、受注者の負担とする。

5 工程等の打合せ

受注者は、あらかじめ作業手順等を定めた作業計画書を作成し、工程等について調査員と綿密な連絡を取らなければならない。

6 安全管理

受注者は、関係法令を遵守し労働災害等の防止に必要な措置を講じ、常に安全管理に努めること。

7 衛生管理

受注者は、水道施設構内での業務に当たって関係法令を遵守し、衛生管理に努めること。

第2章 業務の内容

1 業務概要

深堀浄水場系の配水管をアイスピグ管内洗浄工法にて洗浄し、マンガン及びその他の夾雑物を除去・排出する。

2 対象路線

業務を行う路線は、次のとおりとする。

配水管（協和境字野田 地内）【別添、管路台帳図】

(1)・管	種	硬質塩化ビニル管 (V P)	
・管	径	φ 1 0 0	
・延	長	6 3 0 m	
・管	種	ダグタイル鋳鉄管 (D I P)	
・管	径	φ 1 0 0	
・延	長	6 3 . 3 m	計 6 9 3 . 3 0 m
(2)・管	種	硬質塩化ビニル管 (V P)	
・管	径	φ 1 5 0、φ 1 0 0	
・延	長	9 9 7 m、1 3 0 m	計 1 , 1 2 7 . 0 0 m

なお、管路台帳図に記載している洗浄計画路線の近隣路線においても、夾雑物による濁水が確認されており、計画路線よりも効率的に洗浄が可能な路線ルートがある場合は、調査員の承認を得て洗浄計画路線を変更することができる。変更する場合は、当初計画延長以上とすること。

3 清掃作業

- (1) 作業区分については、昼間作業を基本とする。
- (2) 作業に伴い約 1 5 0 戸の断水を想定しているため、受注者はそれを考慮して作業計画書を作成すること。
- (3) アイスピグ管内洗浄工法の品質管理は、アイスピグ研究会技術資料を遵守すること。
- (4) 管内洗浄時の圧力及び流量、水温、電気伝導度等を計測・記録すること。
- (5) 別添図面に明示しているアイスピグ注入口及び排出口よりも、効率的に管洗浄を行える注入口等がある場合は、調査員の承認を得て変更することができる。
- (6) アイスピグ注入口及び排出口に接続する器具類は、受注者の負担で準備・取り付けし、作業終了後に原形復旧すること。
- (7) 業務の実施に起因して既設構造物・機器類等の破損等については、すべて受注者の負担により原形復旧すること。

(8) 作業実施前と作業実施後にアイスピグ排出口より採水し、水質検査を実施し水質検査結果書を提出すること。

水質検査項目は、味・臭気・色度・濁度・マンガン及びその化合物を必須とする。

(9) アイスピグ排出された堆積物は、南外浄水場の指定された処理施設に運搬し排出すること。

第3章 その他

1 疑義等

本仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、必要に応じて協議し定めることにする。